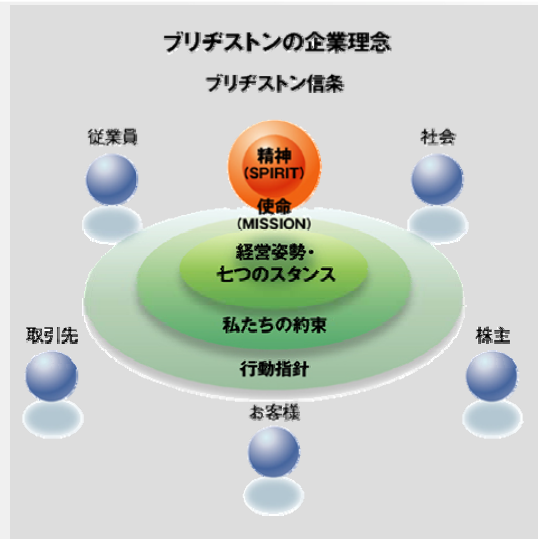


中期経営に関する基本的な考え方

2006年11月20日
株式会社ブリヂストン
荒川 詔四

基本方針

企業理念



ブリヂストン信条

SPIRIT (精神)

信頼と誇り

MISSION (使命)

最高の品質で
社会に貢献

3/19

経営方針



1. 経営の最終目標
タイヤ会社・ゴム会社として
「名実ともに世界一の
地位の確立」

2. 基本姿勢

3. 経営の基本方針

4/19

経営の最終目標



タイヤ会社・ゴム会社として「名実共に世界一の地位の確立」を目指す

- ・タイヤ業界を取り巻く環境の大きな変化
⇒需要、競争、収益性
- ・売上、海外事業展開の外形的な規模だけでは勝ち抜けない環境
⇒「中身を伴った真の」グローバル化
- ・グループ・グローバル全体で最適、かつ迅速な意思決定と行動
- ・全てのステーク・ホルダーへの配慮
⇒コーポレート・ガバナンス体制
CSR体制の確立

5/19

基本姿勢



1. 基本・原則

ビジネスの基本・原則を常に意識

2. 理念・精神

創業以来の「理念・精神」を踏襲し、「企業理念」を継承

3. 国内事業

事業基盤をさらに磐石に

4. 事業展開

強固な国内事業の上に、グループ・グローバルな事業展開を促進

6/19

経営の基本方針



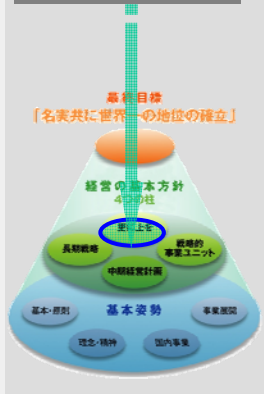
1. 「更に上」を常に目指して、全ての製品・サービスで世界最高を目指す
2. 長期戦略を明確化し、事業領域の統合・拡大を推進する
3. 戦略的事業ユニット(SBU)制で真のグローバル企業を目指す
4. 「中期経営計画」を核に、全体最適のグループ経営を目指す

7/19

経営の基本方針に則った基本戦略

基本戦略1:「更に上」(1)

「更に上」を常に目指して、全ての製品・サービスで世界最高を目指す



「更に上」の商品群:戦略商品群への積極的なリソース投入

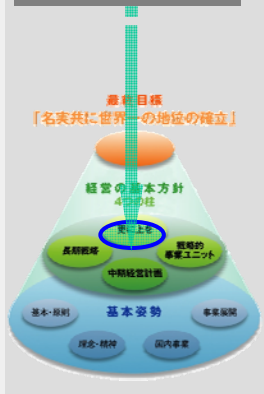
タイヤにおいて成長領域でありかつ、ブリヂストンとして市場で強力な競争力を持ちうる領域の事業強化

1. 乗用車用タイヤの高付加価値化推進
◇ランフラットタイヤ ◇UHPタイヤ
2. トラック・バス用タイヤの高付加価値化推進
◇GREATEC ◇低扁平率ラジアルタイヤ
3. 市場で競争力の特に高い商品の拡充
◇大型建設車両用ラジアルタイヤ
◇航空機用ラジアルタイヤ
◇モーター・サイクル用ラジアルタイヤ

9/19

基本戦略1:「更に上」(2)

「更に上」を常に目指して、全ての製品・サービスで世界最高を目指す



「更に上」の材料技術、生産技術

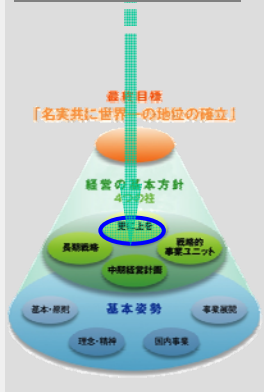
原材料、素材価格の高止まり環境への対応力確立、グローバル生産力強化に資する生産技術開発

1. 市場要求品質の確保が前提
◇法規要求を含むあらゆる市場要求品質の確保
2. 材料費の改善
◇材料費価格高止まり時代に対応できる体質
◇長期的な材料費目標設定とその着実な達成
3. 生産技術の競争力強化
◇他社対比優位な先端生産技術の確立とそのグローバル展開

10/19

基本戦略1:「更に上」(3)

「更に上」を常に目指して、全ての製品・サービスで世界最高を目指す



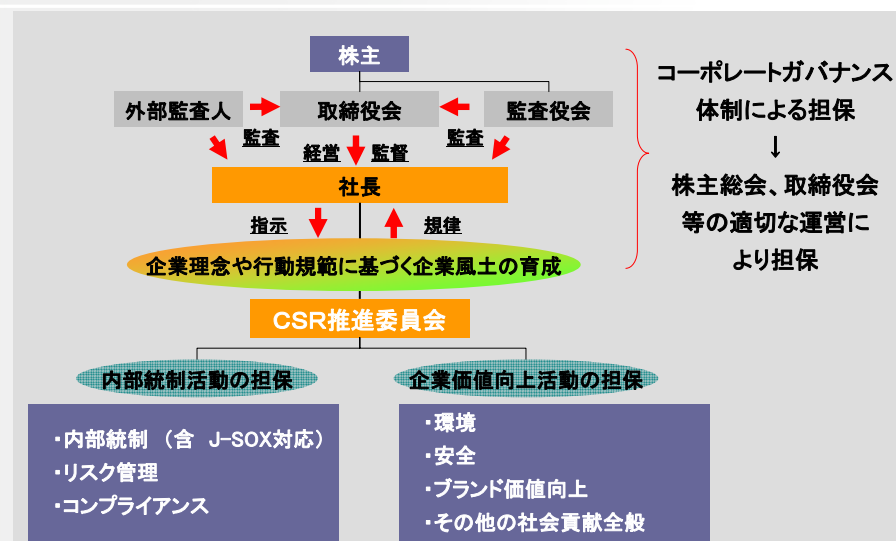
「更に上」の総合的企業活動

コーポレートガバナンス体制、CSR体制の確立

1. 強固かつ透明なコーポレートガバナンス体制
2. CSR体制の確立
 - ◇環境対応 ◇製品の安全
 - ◇コンプライアンス、リスク管理の徹底
 - ◇内部統制の充実 ◇人材の育成 ◇社会貢献活動
 - <具体的には>
 - ◇環境負荷を十分に認識し、その低減を徹底
 - ・環境配慮商品: 低燃費タイヤ(エコピア)
 - ・3Rに寄与する活動の徹底検討
 - ◇安全に関する積極的商品展開・活動
 - ・安全訴求商品: エアロス対策品、ランフラットタイヤ
 - ・安全啓蒙活動: Tire Safety Campaign
 - ◇本業にも貢献する社会貢献活動

11/19

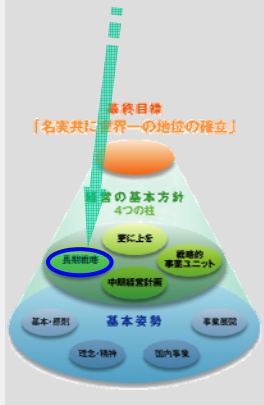
コーポレート・ガバナンスとCSR概念図



12/19

基本戦略2：長期戦略を明確化し事業領域を統合・拡大

長期戦略を明確化し、
事業領域の統合・拡大を推進する



「垂直統合」

当社が強みを持つ領域の事業資産の活用

1. 原材料分野の開発・生産資産
◇天然ゴム、合成ゴム、カーボン
2. 生産設備の開発・製造
◇機械設備、モールド
3. 小売店網
◇自社保有、フランチャイズ展開

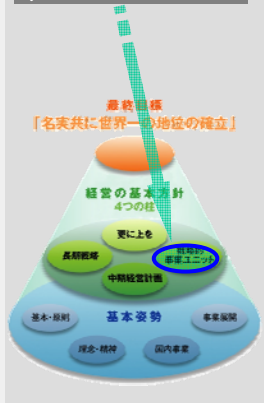
ソリューション・ビジネスの強化

製品のみならず、周辺領域のサービスも組み合わせたビジネスモデルの開発

13/19

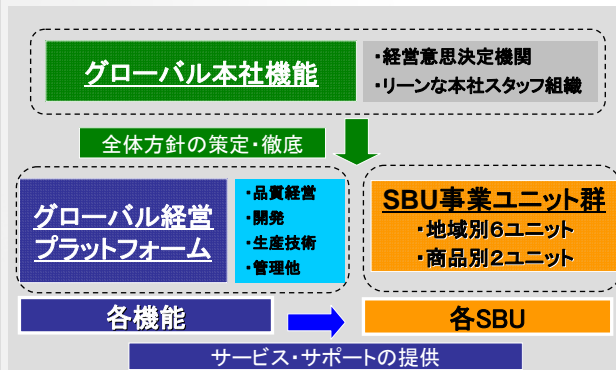
基本戦略3：SBUで真のグローバル展開

SBU(戦略的事業ユニット)制で真のグローバル展開を目指す



「SBU(戦略的事業ユニット)制」

世界各地の市場やお客様のニーズを感じ取り、スピーディーに、かつグループ・グローバル最適に対応できる経営体質の実現



14/19

基本戦略4: 中計を核に、全体最適のグループ経営

中計(中期経営計画)
を核に、全体最適の
グループ経営を目指
す



「中計(中期経営計画)」

グローバルの全ビジネス・リソースに亘り、グループ全体として整合性を取った中期経営計画の策定により、急激かつダイナミックな事業環境の変動に、的確かつスピーディーに対応

1. 経営目標と施策の明確な連動
2. 時間軸の明確化(具体的計画対象期間は5年程度)
3. グループ・グローバルでの完全な整合
4. 2007年春までに、各SBU、グローバル経営プラットフォーム各機能ごとのフレームワークを完成

15/19

経営目標数値

経営目標数値

1. 経営目標

- ◇収益体質をピークアウトさせない経営体制
- ◇収益性と資産効率のバランスの取れた目標設定
- ◇「**連結ROA 6%**」を経営目標とする

2. 中期計画期間(2007年-2011年)中の**期間目標**

- ◇ **2010年ROA5%**
- ◇ **2011年ROA5%超**
を期間目標とする

17/19

免責条項

本資料に掲載されている業績予想、計画、戦略目標などのうち歴史的事実でないものは、作成時点で入手可能な情報からの判断に基づき作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。そのため、今後の当社を取り巻く経済環境・事業環境などの変化により、実際の業績が掲載されている業績予想、計画、戦略、目標などと大きく異なる可能性があります。

18/19

終